

## 第6学年「社会」学習指導案

授業者 岡田 泰孝

2月18日(木) 2階A室 9:00~9:40

### 1 題材名 「米軍普天間基地の移設論争について考えよう」

#### 2 題材について

##### (1) 【場面設定】：「時事的な社会事象について、他者との差異や葛藤を感じる問題」を扱う内容

沖縄県の米軍普天間基地は19年前に辺野古に移転されることになった。それ以降、辺野古への移設に反対する市民の声が大きくなり、現在では首相と沖縄県知事は対立を深めている。この争点の背景にはどのような経緯や事実、「判断の規準」があるのだろうか。争点とその背景を調べながら、本土に住む一市民として考えて判断してみよう。

##### (2) 本題材と子どもたちとのかかわり

一昨年末の沖縄県知事選挙に先だち、子どもたちは模擬選挙を経験した。その際、沖縄の普天間基地移設問題の争点について概略を学んでいる。この論争の背景には、どのような事実の解釈があるのだから。

- i 普天間基地の米軍海兵隊は尖閣諸島が外国から攻められることを防いでいる。地理的にも沖縄に米軍基地があるので、東アジアの平和が保たれている。そして、米軍が沖縄の基地を望んでいる。
- ii 沖縄に米軍基地があることで、沖縄の人々の仕事があって、雇用が確保されている。
- iii 面積が狭い沖縄県が、在日米軍基地のほとんどを負担し、他県との不公平感を感じている。他県も米軍基地を引き受けるべきか、それとも沖縄に負担を強いるのかなどの争点が挙げられる。これらの問題は、一部の少数の人々が不利益を被り、現地から離れた多くの人々が利益を受ける問題ととらえられる。首都近郊にも米軍の主要空軍の横田基地、米海軍の厚木基地があり、過去に米軍機墜落で日本人が亡くなる事故も起きている。東京に住む子ども達も、沖縄の問題について当事者意識をもって考えるためには、似たような境遇にあることを知り、繋がりをを感じるような工夫をすることが大切になろう。

##### (3) 本題材において育てたい「政治的リテラシー」

○社会的事象や時事問題の対立点、論点や、それらの背景となる基本的事実を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普天間基地を辺野古に移転することに賛否両方の意見があることを知る。</li> <li>・ 沖縄県だけに米軍基地が多く、様々な負担を強いられていること知る。</li> <li>・ 米軍が日本に駐留することで日本の安全が高まるという考え方を知る。</li> </ul>
○社会的事象や時事問題の対立点、論点について、多面的(他者の視点)な見方で考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普天間、辺野古周辺、八重山地方、本土の人々など様々な立場で考える。</li> <li>・ 米軍基地のお陰で日本の安全が守られているから沖縄に感謝する。</li> <li>・ 一部の地域だけに大きな負担を負わせてよいのかを考える。</li> </ul>
○読みとった情報・知識を、自分の主張の根拠にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オバマ大統領は沖縄の海兵隊をグアムに移動させると言ったことを読み取る。</li> <li>・ 日米地位協定を安全と関連づけて読み取る。</li> </ul>
○様々な立場の人が幸せになれる条件を考えて決定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米軍基地を国外に移設するなら代案を考える。</li> <li>・ 各地道府県がもっと米軍基地を引き受けるようにする。</li> </ul>

### 3 学習指導計画 (全9時間/4時間目)

1~3時: 国内で起きた米軍機墜落事故や、普天間基地移設の論争点を知る。

4~7時: 普天間基地の辺野古移転の争点 i~iii の背景を調べて自他の考えを比べて話し合う。

8~9時: 争点 i~iii について総合的に討議して一人一人が判断する。

### 4 本時の学習について

(1) 本時のねらい 普天間基地の辺野古移転の争点 i の背景を調べて自他の考えを比べて話し合う。

(2) 予想される本時の展開

予想される子どもの姿	留意点
1 課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     沖縄に米軍基地があることで、尖閣諸島が外国から攻められることを防いだり、東アジアの平和が保たれたりしていることや、米軍が沖縄の基地を望んでいることについて、その背景や解釈を調べ、考えよう。                 </div>	
2 普天間、辺野古周辺、八重山地方、本土の人々などの立場で考える。 ア 普天間基地周辺の人々は、一日も早い辺野古への移設を希望する。 イ 辺野古周辺の人々は、美しい海を守りたい気持ちと、もっと町が栄えることと両方の気持ちがあると思う。 ウ 八重山の人々は、沖縄の米軍基地で守られていると感じている。 エ 本土の人々は、なるべく沖縄に米軍がいてほしいと考えている。 3 それぞれの立場から立論・反論を行う。 4 反論を聴いて反駁を行い、考えた立場で振り返りを書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アには普天間周辺の人々にも米軍基地県外移設を望む人がいないか想起させる。</li> <li>・ イには辺野古の様子を想起させる。</li> <li>・ ウにはアメリカは領土問題については、中立の立場なことを想起させる。</li> <li>・ エには沖縄の人々の本音を考えさせる。</li> <li>○アメリカ大統領は沖縄海兵隊をグアムに移転する考えがあることも含めて、考え直させる。</li> </ul>